

## 2014年度事業報告

### 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン都筑

#### 事業概要

認定NPO法人を取得し本格的に活動を開始して1年、定款の変更や、広報の見直しなどで、WE21 ジャパン都筑の活動により多くの人たちが共感してもらえるような仕組み作りを意識しました。その結果、賛助会員や寄付者などの増加につながることができました。また、念願だった若い世代の参加も、事務局・ボランティアともに進み、活動の継続に向けて、一歩進めることができました。

しかし、税制改革や、ODA大綱の見直しなど、NPO法人にとって、活動の停滞を起こしかねない方向に進む懸念が残っています。

このような流れを変えていくためにも、地域での共感者を広げることに努力をしていきたいと思えます。

#### 事業報告

##### 1. 資源のリユースリサイクルを推進する事業

天候不順や消費税増税の影響が懸念されましたが、運営委員会で立てた年間計画に沿って、フェアなどでの演出に努めた結果、本年度売上目標を達成することができました。

夏・冬のセールの売上の20%、貧困キャンペーン当日と3・11東日本大震災発生日の売上の全額を支援に充てることを訴えかけ、国内外の支援のためのチャリティショップであることを伝えることができました。

ショップ事務局(マネージャー)も新体制になり、新しい風を呼び込むことができました。

実績	売り上げ	顧客数	ボランティア のべ(実人数)	寄付者(新規)
2013年度	6,120,828円	7,475人	660人(28)	2,127人(154)
2014年度	6,525,234円	7,931人	903人(30)	2,180人(149)
対前年比	107%	106%	137%(107)	102%(97)

##### 1) 企画

- 4月 アクセサリーフェア、アニバーサリーセール
- 5月 ガラス器フェア
- 6月 浴衣フェア
- 7月 夏のセール

- 8月 ガラス器セール、夏物ミニセール
- 9月 手芸品フェア、七五三フェア
- 10月 貧困なくそうキャンペーン、漆器フェア
- 11月 コート・ジャケットフェア、クリスマスフェア
- 12月 お正月用品フェア、冬のセール、バッグフェア
- 1月 新春市
- 2月 着物フェア前の売りつくしセール、着物フェア
- 3月 手芸品フェア

## 2) ボランティア

①新規ボランティアが3名増え、延べ人数も大幅に増加しましたが、本年度も常時複数体制はできませんでした。また、「ボランティアによるショップ運営」という基本をどう作るのか、課題を残しました。ボランティア中心のショップ体制を作るには更なるボランティアの拡大とスキルアップが必要です。

②年5回、ボランティアミーティングを開催して、ボランティア間の親睦を深めると共に、ショップの実務につながる研修を行ないました。しかし、参加者が偏りがちで、今後とも工夫が必要です。

4月 2013年度実績報告、危機管理対応確認

6月 新マネージャー紹介、ショップ作業内容確認

9月 貧困キャンペーンに向けたミニ学習会

11月 ナカノ(株)秦野工場見学

2015年3月 「カンボジアスタディツアー報告会」で支援について共有

## 3) イベント

地域のイベントに出るなどにより、ショップの認知度が上がり、顧客拡大につながりました。

①5月3日 センター南まつり

WE 油田と、震災支援のアピールを中心に物品販売をしました。

②3月8、9日 「3.11わすれない あったか復興支援イベント」

昨年に引き続き、子供の輪投げ、物販などを企画し、その収益と、3/11のショップ売上げを合わせてザ・ピープルのコットンプロジェクトに寄付をしました。

## 4) 資源の有効活用

①ストックを潤沢にするため、また、上質の見切り品を有効活用するため、他のWEショップや、エコものセンターとのトレードを活用しました。

②WE 21 ジャパングループの一員として今年度も、家庭での使用済み食用油の回収に取組み、「WE 油田つづき」を継続しました。回収8回・合計265Kg(前年221Kg)

③本年度も、故繊維業者「ナカノ」が開発したエコ手袋を販売し、故繊維の利用を進めると共に、ガラスリサイクル業者「飯室商店」を通じてガラス器のリサイクルにも努めました。また、陶器についても「木村管工」を通じて、陶器のリサイクルを継続しています。

【日時】 通年

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員 6 名、ボランティア月平均 28 名、ショップ事務局 2 名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出費】 5,561,429 円

## 2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業（民際支援事業）

### 1) 民際支援事業

#### ①カンボジアの児童労働防止事業

助成団体：特定非営利活動法人 国際子ども権利センター(シーライツ)

事業名：カンボジア・スパイリエン州コンボンロー郡タナオコミューンにおけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身売買及び児童労働防止プロジェクト

助成金額：120,000 円

セールの売り上げの一部を支援に充てるなど、WEショップの事業が、カンボジアの子どもたちと繋がっていることをアピールしました。

子供たちが置かれている環境は、厳しく、この活動を通じて、自分たちで考える力をつけることは重要との理由で、支援継続を決定しました。

#### ②フィリピンのコーヒーの森づくり事業

助成団体：コーディレラ・グリーン・ネットワーク

事業名：フィリピン・ベンゲット州におけるアグロフォレストリー栽培によるコミュニティづくり（コロス集落の植樹地のメンテナンス）

助成金額：40,000 円

土地が荒廃し、ほかに産業がないコロス住民にとってこの事業は、必要性の高い事業であるという理由から継続支援を決定しました。

支援しているWE21グループメンバーとコーヒーの森支援連絡会を結成し、共同で点検評価を行うなど、情報共有や学びの場としました。

#### ③チョコ募金

募金先：日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）

事業名：イラク・福島の子どもたちとシリアの難民を支援するための募金

募金額：23,493 円

## 2) 民際収益事業

フェアトレード品の販売を通じ、現地のひとたちの自立支援に協力しました。また、より現地の情報を的確に伝えられるよう、品目や仕入先の見直しを行ないました。

製品	支援団体	仕入額
カンボジア伝統の絹織物を使った小物	コンボンチャム女性自立訓練センター	17,850 円
「カピタコ」コーヒー	コーディリエラ・グリーン・ネットワーク (CGN)	11,000 円
ジンジャーティ	ウバパス/ダイヨコン/ランパダ/シュントック財団	20,400 円
カンボジア伝統の絹織物を使った小物	幼い難民を考える会 (CYR)	23,044 円

## 3) 東日本震災支援

### ①センター南まつり

いわき食彩館の物品販売 29,447 円 (仕入れ価格)

### ②「3. 1 1 忘れない あったか復興支援イベント」に参加し、その収益を3/11の売り上げとともに寄付しました。

「いわきコットンプロジェクト」

助成団体：ザ・ピープル

寄付金：30,442 円

【日時】 通年

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員6名、ショップ事務局2名

【受益対象者】 福島 of 市民、アジア等 (カンボジア・フィリピン・イラク) of 市民

【事業支出額】 345,790 円

## 3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業 (共育活動)

### 1) 民際支援や環境について理解を深める場として「WE 講座」を開催しました。

#### 第1回講座 「都筑に油田が?! ~てんぷら油がエネルギーに」

日時：5月18日 (日) 13:30~15:00

場所：かけはし都筑

講師：染谷 ゆみ (TOKYO 油田代表)

参加：19名

#### 第2回講座 コーヒーの森スタディツアー報告

日時：12月20日 (土) 13:30~15:30

場所：かけはし都筑

講師：門永さつき (コーヒーの森連絡会座長)

参加：6名

#### 第3回講座 シーライツスタディツアー報告

日時：3月17日（火） 13：30～15：30

場所：かけはし都筑

講師：海田祐子（WE21ジャパン都筑代表）

参加：8名

2) 貧困なくそうキャンペーンを行いました。

10月11日～17日

フィリピンのコーヒーの森事業を通じて、日本とのつながりや開発について考える期間としました。

内容：ショップでのパネル展示とクイズ クイズ参加29名

コロス村へのメッセージボードへのサイン91筆

10/17 ショップ売上げの寄付 31,650円

3) 地域のイベントに参加しWE21ジャパン都筑の活動を紹介するとともに、地域との交流を深めました。

5月3日 センター南まつり

3月8, 9日 「3.11 忘れない あったか復興イベント」

4) WE21グループメンバーとともに講座、研修等を共同企画しました。

1月27日 コーヒーの森事業報告会 CGN 反町 真理子氏

2月17日 緊急学習会 「～後藤健二さんの人質事件から考える～今後わたしたちのすすむべき道は・・・!?」 JIM-NET 佐藤 真紀氏

3月24日 カンボジア事業報告会 シーライツ 甲斐田 真智子氏

5) スタディツアーに参加し、現地とつながりを作るとともに、事業の点検評価、事業紹介などに活かしました。

11月26日 いわきスタディツアー 参加1名

2月2～10日 カンボジア・ベトナムスタディツアー 参加1名

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員6名、ショップ事務局2名、ボランティア5名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 58,900円

#### 4. 法人の事業の広報普及を図る事業（広報活動）

地域の配布方針を見直し、ボランティアによる戸別配布は、ニュースの比重を高め、より、WE21ジャパン都筑の活動を知ってもらうようにしました。

1) WEニュースを発行し、WE21ジャパン都筑の活動を紹介しました

発行4回 春 200部 震災講座・支援実行報告

夏 250部 WE油田報告

秋 6000部 貧困なくそうキャンペーン（ボランティア配布）

冬 5500部 チョコ募金・着物フェア（ボランティア配布）

- 2) セールやフェアのチラシを作成し、地域に配布しました。
 

アニバーサリーセール	6000部	(ボランティア配布)
夏セール	6000部	(ボランティア配布・新聞折り込み)
冬セール	1500部	(新聞折り込み)
着物フェア	2000部	(新聞折り込み・周辺配布)
- 3) ミニコミ紙や新聞折り込みを活用し、より多くの人に情報を提供しました。  
ミニコミ誌にフェア、セールの告知記事を掲載しました(計4回)。また、新たな地域開拓として、一般紙にも折込広告を依頼しました(計3回) また、ホームページも活用して、随時お知らせを載せ、それを見て来店する方も増えました。
- 4) 会員等へのお知らせにパソコンメールによる配信は、できませんでした。
- 5) HPに随時、ショップ情報や、イベント等のお知らせをのせ、活用しました。また、より見やすいHPを目指して改訂に取り組みましたが、完成には至りませんでした。
- 6) リーフレットやミニチラシを活用し、WE21ジャパン都筑の活動を紹介しました。  
その結果、前年度落ち込んだ顧客数は持ち直し、新しい顧客を獲得することができました。寄付品提供者数も増えましたが、新規提供者の拡大が課題として残りました。
- 7) 本年度も、区民活動センターやかけはし都筑の情報コーナーを活用し、寄付品提供者やボランティア希望者の紹介を受けることができました。  
1か月まるごと!みんなの活動PR展に参加し、11月 1か月間 都筑区民活動センター内に都筑の紹介パネルを展示しました。

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員6名、ショップ事務局2名、ボランティア16名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 173,748円

## 組織活動

- 1) 組織運営  
事業ごとに事務局の作業を分担し、組織運営を進めました。特に、会計、各届出書などは、複数で作業することで、より迅速で正確な作業を進めることができました。
- 2) 寄付の仕組みを作る  
個人からの寄付が合わせて38,000円ありました。また、認定NPO法人になったことにより、寄付の問い合わせもあり、運営委員会内で手続き方法を学習しました。
- 3) 会員  
定款を変更し、共感者を増やすため、賛助会員を募りました。  
正会員 加入1名 3月末会員34名  
賛助会員 2団体
- 4) WE21ジャングループのネットワークを活かし、運営に役立てました。
  - ①マネジメント会議、経営会議へ参加。

②研修、講座等への参加

- 5月 平和講座
- 6月 憲法講座
- 7月 貧困なくそうキャンペーン学習会
- 8月 支援講座
- 9月 消費税学習会
- 9月 多文化共生講座
- 12月 支援講座
- 3月 平和講座
- 3月 支援講座

③WE 2 1 ジャパングループの地域 NPO との連携

- 5月 ODA 大綱見直しへの提言賛同署名
  - 7月 法人税の税制見直しについて 法案決定を阻止するため、要望書を提出し、WE 2 1 グループ有志とともに、神奈川県内の議員にロビー活動を行いました。
  - 10月～3月 WE 2 1 グループ組織検討プロジェクト
  - 7月～3月 生活クラブ運動グループ連携協議会
- 5) 研修生の受け入れを行い、WE ショップでの作業を通じて環境や、海外支援について学んでもらいました。
- 7, 8月 つづき MY プラザ はあと de ボランティア 3名
  - 1月 荏田南中学校 職業体験研修 2名
- 6) 就労支援の受け入れを1名行いました。
- 4～9月の2期ワーコレ協会を通じて、横浜市の就労支援の受け入れを行いました。
- 2期終了後、就労につながるとともに、都筑へもボランティアとして継続参加をしてくれています。今後も就労支援に取り組むには、事業への理解が必要と考え、運営委員会で、学習会を行いました。
- 7) 地域通貨「リーフ」を活用し、地域のボランティア活動を応援しました。

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員 6名、ショップ事務局 2名、

【受益対象者】 一般市民、WE 2 1 ジャパン都筑メンバー

【事業支出額】 154, 114 円